

ぬまた 市議会だより

第68号

12月定例会

令和5年
2月1日



12月定例会

12月定例会は、12月6日に開会し、12月19日までの14日間、市当局からの報告、条例の制定及び改正、令和4年度補正予算、追加補正予算など計34件と、条例の制定及び改正計3件、議会からの請願書を審議しました。
また、15人の議員が一般質問を行い、市当局と活発な議論を展開しました。

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金

国が実施する「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」の支給に必要となる経費について約2億8千万円を追加し、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金などを給付します。

個人情報保護に関する法律施行条例を制定

令和3年度に「個人情報の保護に関する法律」が改正され、地方公共団体に係る個人情報の保護に関する規律が同法に一本化されることに伴い、現行の「沼田市個人情報保護条例」を廃止し、沼田市個人情報の保護に関する法律施行条例・沼田市個人情報保護審査会条例を制定しました。

条例に反対 (一部抜粋)

個人の情報を企業などに提供するための仕組みづくりでしかなく、個人情報を保護することは相容れません。沼田市がやらなくてはならないことは、個人の尊厳、基本的人権、地方自治を擁護することであり、それを踏み破るような条例制定は認められません。

条例に賛成 (一部抜粋)

本条例の主眼である市民の個人情報の適正な保護、管理、利用がされなければならず、地方自治体の主体性の確保はもちろん、一律画一化の「有用性」を暴走させることが無いよう「保護審査会」の主体性と権能を充分に発揮されることを強く希望し賛成します。

望郷の湯、しゃくなげの湯で入館料等を見直し

新型コロナウイルス感染症拡大等に起因する入館者の減少、燃料価格や諸物価の高騰による運営経費の大幅な増加などが、経営に大きな影響を及ぼしており、両施設を継続的に安定した経営を行っていく上で経営の立て直しや、老朽化した施設の修繕を行い、経常的な経費の見直しなどの経営改善に加え、利用者へのサービスの維持・改善に資するため、主たる収入源である、入館料等の見直しを行います。

望郷の湯・しゃくなげの湯入浴料			
区分	金額 (入湯税込み) (単位:円)		
	大人	12歳未満	障がい者
2時間※	700	400	450
4時間	1,100	600	650
6時間	1,300	800	850
1日	1,500	900	950
超過時間	250	200	200

※しゃくなげの湯は3時間

常任委員会

民生福祉常任委員会で 請願を審査

「安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める請願書」について、民生福祉常任委員会で慎重な審査を行った結果、賛成多数で「趣旨採択すべきもの」と決しました。

請願の趣旨は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、「医療崩壊」「介護崩壊」が現実のものとなったことを受け、それらを解消するため、医師、看護師、介護職員の配置基準を抜本的に見直し大幅に増員すること、ケア労働者の賃上げを支援すること、医療や介護現場における「夜勤交代制労働」を抜本的に見直すこと、新たな感染症や災害に備えるため、公立・公的病院や保健所を整備拡充すること、患者や利用者の負担を軽減することなどの実現を求め、政府関係機関に意見書を提出するよう求めるものです。

審査の課程では、安全・安心な医療及び介護を確立するためには、それぞれ従事される方々

消防団員を減員

令和5年4月からの沼田市消防団の組織再編に伴い、消防団員の定員を、現在の812人から710人に見直しました。



補正予算

国県支出金の確定などにより増減を生じるもの、緊急に措置しなければならぬものなどに限定し、12億8,674万6,000円を追加しました。

主な内容は、公共施設光熱水費の追加、児童福祉管理事業における国庫支出金返還金及び県支出金返還金の追加、新型コロナウイルスワクチン接種委託料の追加、沼田市外二箇村清掃施設組合負担金の追加、電子地域通貨事業業務委託料の追加、企業誘致推進助成金の追加、観光交流費のしゃくなげの湯・交流施設管理運営事業における修繕料の追加、学校校舎等改修工事・更新整備工事の追加などです。

子ども議会で小中学生、高校生が堂々と質問

市内小中学生と利根沼田の高校生代表による「子ども議会」が11月19日、テラス沼田5階議場で開催されました。子どもたちの夢や豊かな感性を市の発展に反映させること、行政やまちづくりへの関心を高めてもらうことを目的に毎年行われていきます。今年も昨年に引き続き、新型コロナウイルス対策として2回に入れ替えての開催となりました。子



ども議員たちは、自分たちで考えた市の問題点に関する質問やこれからの沼田市の活性化についての政策提言などを堂々と行いました。

質問の内容も多岐にわたり、観光、環境、食品ロス、財源問題など市の様々な課題や、学校の通学路、放課後学習スペース、長期休業期間についてなど子どもたちの身近な問題についても質問。市長、教育長の答弁を真剣に聴いていました。



の尽力なくして実現することはなし得ないことは周知のところであり、それぞれの厳しい労働環境等、現場の実情も十分認識しており、医療や介護職員の人員配置や賃金は国が基準を示すものであることから国に明確に意見書を提出し、改善を求めべきであるといった意見もありました。

しかし、請願の趣旨や現場の実態は十分理解するものの、国がその改善に向けて動いている状況下において、意見書を提出するのは時期として適切とは言いがたく、まずは、委員会としてしっかり請願を受け止め、引き続き、国の動向等を注視し続けるべきであるとの意見もあり、審議の結果、賛成多数で「趣旨採択すべきもの」と決定しました。



一 般 質 問

市のさまざまな課題等について、議員が提言も含めて市に考えを聞く「一般質問」。質問内容は、議案とは関係なく各議員が自由に決めます。このページの内容は、質問した議員がそれぞれ自ら編集したダイジェスト版です。QRコードからは、各議員の一般質問録画映像がご覧いただけます。

中村 浩二	誰もが支え合う共生社会の創造
井上 弘	子育てしやすいまち沼田を目指すために
茂木 清七	安心安全で住みやすいまち沼田の実現の為に
金子 浩隆	沼田の「未来予想図」を描く
三ツ石岩男	市民が納得し納めて頂ける「税」
青木 一郎	白沢支所のデジタル防災無線の利用は
永井 敏博	市民の生活不安払拭と活力あるまちづくり
高柳 勝巳	地域課題の解決策・学校備品の購入拡大
桑原 敏彦	沼田市へ人を呼び込む計画
藤井美和子	デジタル社会の今後と英語教育
小野塚正樹	沼田の観光集客と地域経済
高山 敏也	市有財産管理と地域と安心な生活
大島 崇行	沼田城再建から始まる沼田市活性化
大東 宣之	市有温泉施設、買い物支援、老神地内崩落
井之川博幸	コロナ感染・物価高騰から市民生活を守れ

スマホから議会を見よう！
議会インターネット中継
 文章では伝わらない、生の議会を映像でご覧ください。



◀ 議会中継
 会議名や議員名を選んで視聴できます。

誰もが支え合う共生社会の創造

中村 浩二



Q 令和5年度当初予算編成の基
 本方針について伺います。

A 今後の円滑な市民生活を実現するため、ワフチン接種の着実な進展、課題解決の実践、市内経済の活性化、生活基盤整備及び子育て支援等の未来への投資など、市民生活の安定と向上に資する施策の充実を図る事を基本方針として、予算編成を進めているところではあります。

Q 令和5年度予算編成にあたり
 市債等の軽減及び今後の推計について伺います。

A 市債が担う「財政負担の平準化」と「世代間の負担の公平化」という役割を念頭に、適正な市債発行と市債残高の縮減に努めていきたいと考えています。なお、市債残高については、今後も緩やかではありますが減少していくものと考えています。

Q 特別支援教育の充実をどう推
 進するのか教育長に伺います。

A 沼田市教育行政方針の重点施策の方針に基づき、校長のリー

ダーシップの下、特別支援教育を推進する教員を中心に、校内で共通理解を図り、特別な配慮を必要とする児童や生徒に対して、一人一人の障害の状態等に
 応じた指導内容や指導方法の工夫を、積極的かつ計画的に行っているところではあります。



Q 不登校児童・生徒への支援等
 の充実をどのように推進するのか教育長に伺います。

A 沼田市教育行政方針の重点施策の方針に基づき、生徒指導主事・主任や学級担任を中心に、児童生徒一人一人が、良さや可能性を発揮して活躍できるように、学校における居場所づくりを工夫し、不登校傾向にある児童生徒の情報を学校と教育委員会が共有し、専門機関等に早期につなぐなど、組織的な対応に努めているところです。

子育てしやすいまち沼田を目指すために

井上 弘



【Q】若い世代の大幅な減少と合計特殊出生率の減少。何とかするには、若い世代、子育て世代の流入増・人口増に取り組みほかありません。取り組まなければ、子どもたちに残す未来は大変なものになります。早急に子育ての経済的負担軽減を進める必要があるのではないのでしょうか。

高校生世代の医療費無料化を進めること、保育料軽減の拡充、学校給食費無料化の具体的スケジュールを伺います。

【A】子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、医療費助成事業における支給対象者の拡充の検討を進めています。保育料軽減の拡充は、財政負担が多額となるため、長期的な財政状況等を勘案し、調査・研究を行っていききたいと考えています。給食費は、実施スケジュールも含め、今後検討を進めていききたいと考えています。

【Q】校則が社会から見て明らかにおかしいのに強制されていた

り、自主活動であるはずの部活動への参加が強制され長時間の練習を強いられたりと、全国的に課題が指摘されています。

校則や部活動などで主体的な活動の実現に向けてどのような取組がされているか伺います。

【A】各学校で、校則の内容が児童生徒の実情、時代の進展などを踏まえたものになっているか、絶えず点検しており、実態にに応じて児童生徒に自分事として考えさせるなど、主体的な活動を促す取組も見られます。

部活動は、各部の目標設定や月別活動計画などで、部員同士の話し合いで決定させる取組も見られるなど、顧問の適切な指導の下、生徒が主体的に活動できるように創意工夫しながら取り組んでいます。



安心安全で住みやすいまち沼田の実現の為に

茂木 清七



【Q】高校生の医療費無料化と通学費助成について市長に伺います。

【A】沼田市も福祉医療制度の拡充について、検討を行っているところです。通学費助成については、子育て支援の視点から地域の実情を鑑み研究していききたいと考えています。

【Q】給食費の無償化について市長に伺います。

【A】子どもの教育が将来の沼田を創るという認識の基、検討を進めていききたいと考えています。

【Q】障害を持つ子どもの親の負担を少しでも減らして頂ければと思います。障害を持つ方の医療費負担について伺います。

【A】障害のある方の支援策として、福祉医療制度の拡充を含め、必要な施策について検討を行っていききたいと考えています。

【Q】近年では50年に1度の災害が毎年のように起きている状況です。災害が起きた時に安心安全な避難所確保が必要と考えます。各施設管理者や自主防災会等

と連携して、安心安全な避難所運営に努めていききたいと考えています。

【Q】地熱発電の活用方法について伺います。

【A】地域産業の活性化や地方創生に役立つエネルギーとしても注目されていると認識しています。

【Q】私が5年前より大学の学長とのやり取りで進めている大学誘致について伺います。

【A】東洋大学板倉キャンパスの撤退などが取りざたされるなど、大学誘致は大変難しい状況にあると考えています。

【Q】子育て世代への支援について伺います。

【A】先進事例に注視し、子育て支援について、調査・研究を行っていききたいと考えています。



一般質問

沼田の「未来予想図」を描く

金子 浩隆



Q沼田城遺跡発掘調査事業の成果をどの様に捉えているか伺います。

A8月の現地説明会では、礎石跡等の発見なども報告されていますが、詳細については今後、沼田城跡調査保存整備委員会で協議検討されていきます。

Q令和5年度はどのような事業を展開するのか伺います。

A平成30年度から始まった沼田市史跡沼田城跡調査の報告書が提出される予定となっていますので、報告書の内容を精査し、今後に役立てていきたいと考えています。

Q中心市街地土地区画整理事業は令和5年度はどのような事業を展開するのか伺います。

A上之町2街区と中町4街区の建物移転を進めるとともに、道路等インフラ整備を予定しています。

Q中央公民館跡地の活用との連動・連携について伺います。

A中央公民館跡地の活用は中心



市街地活性化にとって重要なものと認識していますが、中心市街地土地区画整理事業との同時整備は、合意形成を含めた事業の進捗状況から難しいものと考えています。

Q沼田浄水場の老朽化と更新について伺います。

A現施設は建設から既に50年以上が経過していて、老朽化の進行とともに施設の修繕が困難となり、躯体の耐震性能も現行基準に對し不足している状況で、計画的な改築更新が急務です。

Q令和5年度はどのような取り組みを行うのか伺います。

A将来的な浄水場の改築更新による大規模な財政支出を見据えた上で、経営戦略を検討していきたいと考えています。

市民が納得し納めて頂ける「税」

三ツ石 岩男



Q物価高騰により市民生活も厳しい中、財政にも今以上に影響が出ます。今後の税収の取り組みについて伺います。

A市税については、地方税法をはじめ、市税条例等の関係法令に則り、公平かつ公正な賦課を行っていると思います。今後も、納税について理解いただけるよう、丁寧な説明に努めていきたいと考えています。

Q今後の沼田市財政運営について伺います。

A人口減少により、貴重な自主財源である市税の減収は避けて通ることはできません。まずは、歳出全般について、事務事業の徹底的な見直しを行い、より一層の歳出削減に努めていきます。

Q沼田市保有の車両数と管理について伺います。

A11月末現在、普通自動車及び軽自動車、特殊車両、自動二輪等を合わせて236台を保有しています。令和3年度の状況ですが、出勤日を基準としての平均

稼働率は約54%です。

公用車は、行政サービスの提供に欠くことのできないものがありますが、より効率的な運用を図り、保有台数の適正化と経費削減に努めていきたいと考えています。

Qスケートボードパーク建設について伺います。

Aオリンピックで正式競技になるなど、スポーツとして市民権を得てきていると認識しています。運動公園では、以前より階段や園路を利用してスケートボードの練習をしている方がいることも承知しています。



市政を問う!!

白沢支所のデジタル防災無線の利用は

青木 一郎



Q白沢支所のデジタル防災無線の基地局から中継局を介した利根地区のデジタル防災無線の早期算化及び着工について伺います。

A緊急告知FMラジオ等への移行を進めたいと考えています。

Q老神温泉のシンボル、内楽橋のLEDライトアップの常設について伺います。

A10月に行われた内楽橋の開通記念式典では、内楽橋のライトアップが式典を盛り上げたことは承知しています。LEDによるライトアップの常設については、集客効果も期待できるツールと考えており、地元観光関係者のご意見を伺いながら調査研究を進めたいと考えています。

Q観光推進の一環として、階段を利用できない障害者の方のための天然記念物A地区内の市有地整備について伺います。

A六角堂の周辺に市有地があることは承知していますが、当エリアは天然記念物のA地区にな

っています。議員ご提案の吹割の滝周辺のバリアフリーは、重要な課題と認識していますが、関係機関と情報を共有し、研究したいと考えています。

Q利根沼田フューチャーダイアログのプラットホームの支援について伺います。

A利根沼田に関わりのある若者たちが地域の未来像を語り合うことは大変意味あることです。未来は若者や子どもたちのためにあり、未来に負債を負わせることがないよう、若者たちの自発的な活動を温かく応援したいと考えています。

※その他の質問：・休止事業の再開



解体中の利根支所

市民の生活不安払拭と活力あるまちづくり

永井 敏博



Qウイズコロナ・アフターコロナにおける農業、観光業、飲食業等への経済支援について伺います。

A国、県をはじめとする関係機関の動向を注視しつつ、感染拡大の防止と経済活動の両立を支援できる効果的な施策に取り組みたいと考えています。

Q横塚工場適地の進捗状況について伺います。

A横塚工場適地は、群馬県新規産業団地造成候補地に選定されました。現在、県企業局の事業化に必要な全地権者からの同意を取得するために話し合いを進めています。

Q既存企業の雇用促進施策について伺います。

A本市では雇用促進の施策として、「労働・雇用支援基本方針」を策定し、労働・雇用環境の整備に努めています。引き続き、雇用者、労働者双方に有効な雇用促進施策を進めていきたいと考えています。

Q鳥獣害、ヤマビル被害の支援について伺います。

A鳥獣被害対策実施隊による野生鳥獣の捕獲活動の成果等により平成30年度以降減少傾向にあります。引き続き、被害減少に向けて取り組みたいと考えています。また、ヤマビルは、現在、特段の支援は行っていませんが、引き続き、忌避対策の周知等を行いたいと考えています。

Q旧サラダパークぬまたにおける民間提案制度による公募状況について伺います。

A審査前のため参加事業者数についての公表は控えさせていただきます。12月下旬に審査委員会を採否を決定し、1月上旬に結果を公表する予定です。



サラダパークぬまた

一般質問

地域課題の解決策・学校備品の購入拡大

高柳 勝巳



Q 具体的な地域課題としての買
い物支援サービスとの連携の検
討状況について、その地域にと
って使い勝手の良い「新たなサ
ービス」が形成されている地域
もあると認識していますが、検
討状況について伺います。

A 買い物弱者への対応をはじ
め、移動手段の確保、空き家対策、
ごみ出し支援などが地域課題
(住民ニーズ)として確認され
ています。

この事業は、重層的支援体制
整備事業における地域づくり事
業に位置づけられるため、引き
続き、地域課題の解決に向けて、
取組を推進していく考えです。

Q 厚生労働省のポータルサイト
「地域共生型社会の実現」と現
在の事業の整合性と実施への考
え方について伺います。

A 社会福祉法の改正により、「重
層的支援体制整備事業」が施行
されています。包括的相談支援
事業、参加支援事業、地域づくり
事業、それらを支えるためのア

ウトリーチ等を通じた継続的支
援事業、多機関協働事業があり、
一体的に展開することで一層の
効果が期待でき、生活支援体制
整備事業は、地域づくり事業に
分類されることから、現在、事業
の実施に向けた検討を進めてい
るところです。

Q 学校で使用する様々な道具や
用具が「個人購入」で良いのか
再検討されるべきものが多く存
在すると考えます。「算数セツ
ト」などを学校の備品として購
入することについて伺います。

A 教育委員会が、学校備品とし
て補助教材を購入することは、
費用の面で難しいと考えていま
すが、学校では、各家庭がそれ
ぞれの状況
に依りて、
購入する
かどうかを
判断できる
よう、配慮
しています。



沼田市へ人を呼び込む計画

桑原 敏彦



Q 地域イベントの連携と観光循
環について伺います。

A 地域の魅力を生かした交流や
体験イベントは観光資源の主役
になり得ると考えられます。関
係団体
と連携
し、総
合的に
研究し
たいと
考えて
います。



石墨棚田イルミネーション

Q 市の活性化を目指す若者や地
域経済を担う諸団体への支援に
ついて伺います。

A 大変重要であると認識してい
ます。市が支援すべき活動に対
応できるよう検討していきたい
と考えています。

Q サテライトオフィスによる雇
用創出と企業誘致について伺
います。

A 新たな企業が進出することで
地方での優秀な人材の確保や雇
用機会の創出が期待できると考

えられます。最も効果的な誘致
の手法を研究していきたいと考
えています。

Q 高校等と連携した人材育成サ
テライトスクールについて伺
います。

A 教育機関の有無が定住促進に
影響すると言われています。教
育環境の整備がまちづくりにと
って重要と考えています。

Q コミュニティナースの人材育
成を行うサテライトセンターに
ついて伺います。

A 地域住民と一緒に健康と安心
をつくる医療人材として注目さ
れています。情報収集に努め、研
究していきたいと考えていま
す。

Q デジタル専門人材派遣制度の
導入について伺います。

A 適切なデジタル人材の確保が
重要な課題となります。国の制
度の活用も選択肢の一つとして
研究していきたいと考えていま
す。

市政を問う!!

デジタル社会の今後と英語教育

藤井 美和子



Q多くの場所でWi-Fi環境が整う事は、これからのデジタル社会では必要なことと考えますがいかがでしょうか。

A現時点では、テラス沼田、ZACROSアリーナぬまた及び市立図書館では整備されています。デジタル化に伴い、Wi-Fi環境の整備が必要であることを認識しており、今後は「沼田市公共施設等総合管理計画」並びに施設の使用頻度及び利用者の特性を配慮し、整備について研究していきます。

Qスマホ・PC等を持たない方への情報伝達の支援についてどのように実施、検討されているのか伺います。

A国のDX方針には、「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」と明示されています。本市においても、この方針を最優先と考え、スマホ・PC等を所持しない市民への十分な配慮を心掛けていきたいと考えています。

Q職員のデジタル機器に対するスキルアップをどのように実施、検討しているのか伺います。

Aしっかりとした人材育成研修を実施し、かつデジタルにも精通する職員を育成することで、国の重点施策への対応と、市民目線に立ったデジタル化が達成できるものと考えています。

Q小学校で英語が『正式な教科』以降の沼田市における外国語教育の現状について伺います。

A各学校の英語を指導する教員と、市費用の外国語指導助手10人を活用した複数体制により、教科書やデジタル教材などの様々な教材を活用しながら、英語でコミュニケーションを図る活動に取り組んでいます。



沼田の観光集客と地域経済

小野塚 正樹



玉原高原の集客と保護

Q玉原の集客の向上と自然保護の観点から玉原センターハウスの現状と今後の活用について伺います。

A入山者が自然保護などに配慮した山歩きを楽しんでいただけるよう、施設全体の在り方を検討していきたいと考えています。
※その他の質問：保護の検討、企業との協働

アニメによる集客の推進

Q既存アニメとコラボした観光客の増加策について伺います。
A沼田市観光協会と連携して、幅広い年齢層に訴求できる施策を検討していきたいと考えています。

てんぐーの推進策

Q地域活動やボランティア活動へのポイント付与について伺います。
A現在、地域活動やボランティア活動に対するポイント付与は

行っていませんが、ポイント付与対象事業の拡大について研究していきたいと考えています。
Q決済データの分析と活用による今後の推進施策について伺います。

A統計情報は、大変有益なデータでありますので、当該データを分析することにより、今後の施策立案に役立てていきたいと考えています。
※その他の質問：決済額や加盟店舗数の数値目標



一般質問

市有財産管理と地域と安心な生活

高山 敏也



Q旧南郷小、旧平川小の無償貸与について伺います。

A職業訓練施設の活用提案があり旧南郷小は平成28年2月、旧平川小は平成29年5月、一般社団法人利根沼田テクノアカデミーに無償で貸付しました。同法人へは、国の交付金や市の補助金が交付されていますが、経営状況については把握していません。今後の契約更新は、借主の意向を確認し適切に判断していきたいと考えています。



旧平川小学校

Q5市町村一般廃棄物処理広域化推進について伺います。

A広域処理を行うため、基本合意書、協定書を締結。処理施設の集約広域化を図る方針で、新施設の稼働まで10年程度を要すると考えています。広報等により、市民への周知を行い、市民の意

見を聴取し、計画に反映させていきたいと考えています。

Q地域の活性化について、地域の協議会、老人クラブ、お互いさまのまちづくりについて伺います。

A令和6年度を目前に市内全域に10地区程度の地域協議会を設置したいと考えています。今年度中に市の方針を示せるように準備しています。老人クラブは、クラブ数、会員数ともに減少傾向にあり、会員増加事例等を共有し、会員増加とクラブ活性化の取組を推進したいと考えています。お互いさまのまちづくりは、県内の取組等の課題や先進事例等を参考に取組を推進していきたいと考えています。

Q新型コロナウイルス感染対策と市民への情報提供について伺います。

A感染者の全数把握の見直しにより利根沼田の感染者数の把握が困難になり、市ホームページに、県内発生状況を掲載しています。

沼田城再建から始まる沼田市活性化

大島 崇行



Q沼田城再建に向けた今後の対応について伺います。

A市指定史跡から県又は国の上位指定を目指し発掘調査を進めています。専門部会により協議検討が進められる予定です。



Q利南東小学校の安全管理の推進について伺います。

A当該小学校周辺の地形や通学路は、安全管理に配慮すべき地域であり、児童や保護者などに危険が及ばないよう努めていますが、苦慮しています。引き続き安全安心な環境整備に努めていきたいと考えています。

Q旧商工会議所の跡地活用について伺います。

A解体工事が進んでおり、工事が完了次第、土地が返還される

予定です。跡地は有効活用していきたいと考えています。

Q旧利南中学校屋内運動場跡地の活用について伺います。

A解体後は、旧利南中学校屋内運動広場の駐車場などを含め、多目的に利用しています。今後、も広場の一部として活用を図ってきたいと考えています。

Q沼田女子高校敷地の活用について伺います。

A沼高沼女統合に伴い、県が検討段階であると認識しています。本市としては、中心市街地内の貴重な敷地、まちづくりにおける重要な用地であり、県と協議しながら動向を注視していきたいと考えています。

Q下水道の汚泥の利活用について伺います。

A従来より堆肥化や建築資材への利用が行われていますが、昨今、大都市では汚泥からリンを回収する取組が行われています。本市としては動向に留意し、研究していきたいと考えています。

市政を問う!!

市有温泉施設、買い物支援、老神地内崩落

大東 宣之



Q望郷の湯、しゃくなげの湯の施設の様子はどのようになっていたのか伺います。

A望郷の湯が築28年、しゃくなげの湯が築21年を経過し、建物や設備の老朽化が進んでいることから、それに伴う修繕箇所も増えてきている状況です。

Q望郷の湯、しゃくなげの湯の施設改修について今後どのような対応を検討しているのか伺います。

A老朽化や突発的な理由により修繕が必要な箇所については、利用者が安心・安全・快適に施設利用できるように最優先し、指定管理者と協議しながら対応したいと考えています。

Q買い物難民といわれる人々への支援についてどのような取り組み、検討がされているのか伺います。

A県内の自治体においても、買い物弱者に対する支援事業を実施していますので、移動販売等も含めて、支援の方法について、

研究したいと考えています。

Q移動販売事業者への支援について検討はされているのか伺います。

A移動販売事業者は、地域で抱える問題を解決する一つの手段であり、県内の取組状況等を参考に研究していききたいと考えています。

Q買い物難民といわれる人々の解消にどのように取り組むのか伺います。

A先進事例を参考に、今後、研究したいと考えています。

Q老神温泉崩落個所の早急な安全対策にどのように取り組むのか伺います。

A河川を管理する国や県へ、対策工事の実施を引き続き要望していきたいと考えています。



▲望郷の湯



▼しゃくなげの湯

「コロナ感染・物価高騰から市民生活を守れ

井之川 博幸



Q医療・介護・福祉施設等の職員や必要な市民等に無症状の感染者を発見するための「抗原検査キット」の無償配布の実施について伺います。

A抗原検査キットの配布は考えていません。

Q物価高騰から市民生活を守るための、「福祉灯油」及び「上下水道料の減免」の実施について伺います。

A「福祉灯油」については、研究をしたいと考えています。水道料金については、基本料金2か月分の免除を実施しています。下水道料金の減免については、実施していません。

Q建築関連業者の振興のため、中小建築関連業者に限定する住宅・商店リフォーム助成金制度の実施について伺います。

A事業者支援を目的とした事業ではありませんが、木造住宅耐震改修事業と空家解体事業を実施し、今後もこれらの事業を推進していきたいと考えています。

Q県内8割以上の自治体で実施している子どもの医療費無料化の18歳までへの拡大について伺います。

A福祉医療の拡充については、検討を行っているところです。

Q幼稚園・保育園の廃止で生まれてくる財源を保育料や副食費の無償化に活用することについて伺います。

A現状では、難しいと考えています。

Q児童福祉施設が利用している借地への固定資産税相当額の支援について伺います。

A他市の状況を見ながら、調査・研究を行っていききたいと考えています。



借地で運営している民間児童福祉施設



廃止になる東保育園

行政調査

報告

沼田市議会では、毎年、委員会ごとに先進自治体等の行政調査や管内調査を実施しています。今回は、経済建設常任委員会の概要を掲載します。

経済建設常任委員会

10月13日、経済建設常任委員会で浄水場老朽化に伴う説明があり、改修または新築の方向性が示されました。

沼田市浄水場は、大正14年に県内では高崎市に次ぐ2番目、全国でも50番目の上水道として供用を開始。以来、増築や改修を繰り返してきました。

現施設は、昭和43年から昭和53年に整備された施設で構成されており、全施設が建造から40年以上経過し、施設の老朽化が深刻化しています。

市からは改修案として、

- ① 現浄水場の補強
- ② 現浄水場内での新設
- ③ 新たな場所に急速ろ過の浄水場を新設
- ④ 新たな場所に膜ろ過の浄水場を新設

このままだと、何かあったとき

議員所感

・数字上は分かっていたが、思ったよりも老朽化が進んでいる。



職員からの現状説明

12月19日の全員協議会で、導入経費や維持経費を比較した結果、**③ 新たな場所に急速ろ過の浄水場を新設する方向に進めたい**との説明がありました。経済建設常任委員会では、12月14日、現状確認のため施設の調査を実施しました。

に水が止まるのが一番心配。
・見るからにだましまし使っているような施設で、いつ断水が起きてもしようがない状況。改修なり移設なり結論を出して早急に進めていただきたい。
・きちんと対応しないと今後何が起ころか分からないという感じを持った。早急に手当をするべき。

・新築になると思うが、それまでの修繕費を考えると、早めの新築に踏み切った方がいい。



浄水場現地視察の様子

次回定例会の日程

次回定例会は、2月21日（火）からの予定です。インターネット中継も行っています。



編集後記

早いもので、前回の沼田市議会議員選挙からもつすぐ4年になります。この4年間で本会議のインターネット中継、録画配信が始まるなど、議会だより以外の議会広報も一歩前進しました。

現在は、市民の皆さんの意見を聴くための広聴機能を充実させていくため、広報広聴委員会で議会報告会・意見交換会について議論が進められています。

市民意見を政策に反映していくためには、皆さんの声を聴く『広聴』と、経過・結果を伝える『広報』の充実が必要です。

『ぬまた市議会だより』も、読みやすい、分かりやすいはもちろんですが、議論の経過や様子、市民の皆さんの意見など、幅広い『広報』ができるように常に改善を目指します。

委員長 井上 弘

議会だより編集委員会

委員長 井上 弘
副委員長 山宮 敏夫

委員 高柳 勝巳 永井 敏博 戸部 博
三ツ石岩男 大東 宣之